

河北潟周辺農地防災事業 木越排水機場建設工事

河北潟は、金沢平野の北部に位置し、金沢市、内灘町、津幡町、かほく市にまたがる石川県下最大面積の潟湖です。周辺では稲作に加え、畑作のレンコン、スイカ、キャベツ等の大規模な栽培や酪農が盛んで、自然豊かな地域です。

本地区周辺の農業水利施設は、国営河北潟干拓土地改良事業及び干拓附帯土地改良事業により造成されましたが、近年、地盤沈下や都市化の進展、降雨量の変化による流出形態の変化に起因して、農業用排水施設の排水機能が低下したため湛水被害が頻発しています。

このため、河北潟周辺農地防災事業では、排水機場や幹線排水路の改修及び防潮水門の耐震化対策を行うことで、農業用排水施設の排水機能を回復して湛水被害を軽減し、農業生産の維持と農業経営の安定を図ることを目的としています。

木越排水機場建設工事は、本事業の一環として現在の国営干拓附帯事業及び県営かんがい排水事業で造成した排水機場を統合して、隣地に新設し、排水能力の増強(2.44m³/s⇒3.50m³/s)を行うものです。

本工事は令和5年10月に着手しましたが、仮設工事施工中、潟底や川底等に当初想定していなかった干拓事業以前からの旧機場の残存物や、不明支障物が散見されたため、取壊・撤去について監督職員に逐次報告し、共に悩み、相談しながら工事を進め、現在は基礎杭工を施工するに至りました。今後とも監督職員、現場、協力業者が三位一体となって無事故無災害で工事を完成できるように努めて参ります。



監督職員からのエール

本工事は、金沢市北部に位置し、近年の降雨量の増加や地盤沈下等により排水機能が低下した排水機場の更新を行い、湛水被害の軽減を図ることを目的とした工事です。

現場は川と川に挟まれた非常に狭い作業エリアで、地盤改良や既製杭の打設、躯体構築を行う必要があり、安全な作業環境を確保した施工計画が求められます。

また、現場近傍には金沢競馬場や県の運動公園等が立地しており、工事用進入路と接続する市道は日中の交通量が多く、一般車両の通行への配慮も重要です。

このような現場条件の中、現場代理人の筒井所長には、現場で発生する様々な課題に対して迅速かつ的確に対応していただいております、機場を管理する土地改良区と良好な関係を構築して、円滑に工事が進められていることに感謝しております。

これから、本体工事に入り、関連工事との調整が増えていきますが、引き続き無事故・無災害で工事が完成することを願っています。

現場代理人

(写真右) 株式会社 大林組

河北潟木越排水機場工事事務所長 筒井 圭一

監督職員

(写真左) 北陸農政局 河北潟周辺農地防災事業所

工事第二課長 西村 竹生

